

# 平成15年度国際学術情報流通基盤整備事業の公募要領

国立情報学研究所

## 1. 趣旨

### 1.1 目的

国立情報学研究所が平成15年度から行う国際学術情報流通基盤整備事業 (SPARC/JAPAN)では、日本の学協会等による電子的な英文論文誌の発行活動に対して多面的な支援を行います。これにより、日本の電子ジャーナルが国際的に一層高く評価され、学協会等の電子的出版活動が促進されることを目的とするものです。具体的には、大学図書館と一体的に活動して、学術コミュニケーションの実情について研究者等への戦略的な情報提供を行ない、SPARC 活動<sup>1</sup>を始めとした米国やヨーロッパにおける学術コミュニケーション活動と連携を取りながら、海外の大学図書館等に対しても購読拡大の道を開拓します。

以上のような活動により、研究成果をより広く流通させることによって、我が国の学協会等の発行する電子ジャーナルの国際的評価を向上させ、研究活動の成果の一層正当な評価を得るとともに、学術コミュニケーションの発展を促すものです。

### 1.2 概要

本事業の目的を達成するため、本事業に参画する強い意欲のある学協会等を募集し、国際学術情報流通基盤整備事業評議会<sup>2</sup>において選定を行います。その後、選定された学協会等と国立情報学研究所で作業グループを形成し、科学技術振興事業団等と連携の上、それぞれの学協会等に適合した英文論文誌の電子化、国際化の支援策を実施します。具体的な支援策は次の通りで、これらの中の一つないしは複数を組み合わせて適切なものとなるよう工夫します。

#### (1) 編集工程の電子化支援

編集工程の電子化等の支援を、科学技術振興事業団のJ-STAGEの編集・査読システムを活用して行う。

#### (2) 英文論文誌の国際化支援

英文論文誌を国際誌として強化するために、学協会等に国際的専門性を持った人材を派遣し、英文編集、査読の充実を図りつつ、英文論文誌の編集能力を持つ人材の育成に努める。また、英文校正作業等の支援を必要に応じて行う。

<sup>1</sup> これらの活動に関しては資料「SPARC：米国とヨーロッパの概要」を参照

<sup>2</sup> 事業の推進体制に関しては資料「国際学術情報流通基盤整備事業推進体制組織」を参照

### ( 3 ) ビジネスモデル創出事業

英文論文誌刊行における財政的基盤の確保のために必要なビジネスモデルの創出支援を大学図書館と連携して行う。J-STAGEの新機能(平成16年1月から運用開始予定のサイトライセンス機能や統計機能)や自機関サーバを利用した国内大学図書館や海外大学図書館への頒布について、その事業モデルの企画等を支援する。

たとえば、国内外の機関購読の拡充のために、大学図書館へ販売する電子ジャーナルの価格設定や価格交渉のノウハウに関するコンサルティング、電子ジャーナルのサイトライセンスの設定や契約についてのアドバイスを行い、電子ジャーナルの販売ルートの確立に向けた整備を支援する。

### ( 4 ) 国際連携の推進

英文論文誌の海外での認知度を向上させるための支援を行う。海外の電子ジャーナルサイトとの連携、相互リンク、海外頒布などについてコンサルティングを行う。

また、米国 SPARC の支援するサイト等へのライセンスングを SPARC/JAPAN として組織的に進める。

### ( 5 ) 調査・啓発事業

大学図書館を中心に、我が国の学術コミュニケーションの動向調査と、学内研究者や学協会等に対する SPARC/JAPAN の広報宣伝活動を行う。

また、学協会等の間で電子ジャーナルビジネスに関する情報の共有を図る。

## 1.3 背景

国立情報学研究所が本事業を開始する背景には、近年の日本の学術コミュニケーションの危機的な状況があります。すなわち、科学技術・学術の推進のためには、研究成果が学術論文によって迅速に流通し、研究者・学生が最新の研究成果を常にご利用できることが重要です。また、これらの学術論文の刊行状況は、それぞれの国、それぞれの分野における研究活動を集団、個人について評価するための重要な指標です。

しかし、これらの学術論文を掲載する学術雑誌の流通については、北米においては1980年代から、我が国においても1990年代には、価格の高騰、大学図書館での購読タイトル数の減少などが問題になってきています。これらの状況の悪化に関しては、商業出版者による市場寡占などとの関係が指摘されており、さらに、日本の学協会等が刊行する英文論文誌については、国際競争力が不十分であるとの指摘がされています。

さらに、1990年代後半からは、世界的に学術雑誌の電子ジャーナル化が進展していますが、日本の学協会等が刊行する雑誌の電子化・オンライン化はJ-STAGE等の利用によって進んできてはいるものの、未だ立ち遅れており、電子ジャーナルの流通促進に関する方策についての検討が十分ではありません。このような動向によって、我が国の科学技術・学術活動の研究成果の正当な評価が、阻害されることが危惧されています。

既に、北米、ヨーロッパなどにおいては大学図書館団体が呼びかけて、研究者

による学術雑誌刊行の電子化の支援を通して、価格高騰の問題を解決する競争的市場を創出する取り組みが展開され、科学技術・学術情報の一層の効果的な流通を図る試みが結実しつつあります。その顕著な例は、米国における SPARC 活動、ヨーロッパにおける SPARC Europe 活動です。

国立情報学研究所が平成15年度から実施する「国際学術情報流通基盤整備事業」は、これらの状況及び鋭意進められているJ-STAGEの改良の成果をふまえ、大学図書館等の協力を得つつ、日本の学協会等がJ-STAGE等を利用して刊行する電子化された英文論文誌の流通の促進を図ることによって、学術情報流通の国際的基盤の改善に積極的に寄与するとともに、我が国の科学技術・学術研究の成果の一層の普及を推進することを目的とします。このことの必要性及び基本的な考え方は、第2期科学技術基本計画を始め、科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会情報科学技術委員会デジタル研究情報基盤ワーキング・グループの審議にもとづく『学術情報の流通基盤の充実について（審議のまとめ）』（平成14年3月12日）において具体的方策として示されたものであり、また科学技術・学術審議会国際化推進委員会の『科学技術・学術活動の国際化推進方策について（報告）』（平成15年1月17日）においても、重点的に推進すべき方策の一つとして「電子媒体での国際的情報発信の推進」が学術情報流通の基盤整備として重要であるとされているものです。

## 2. 進め方

### 2.1 学協会等とのパートナーシップ

本事業の推進に当たっては、本事業の趣旨に賛同し、刊行する英文論文誌の電子化・オンライン化や国際的な競争力の一層の向上について意欲を持つ学協会等とのパートナーシップが不可欠です。そのため、本事業に参画する学協会等を募集します。学協会等と国立情報学研究所とがパートナーとなり、選定された英文論文誌ごとに作業グループを組織し、科学技術振興事業団等とも連携の上、英文論文誌の電子化、国際化やビジネスモデルの創出推進事業を実施します。

### 2.2 作業グループの活動内容

電子ジャーナルを効果的に発信するためには、学協会等における編集過程で、電子編集システムや、電子化に対応した印刷会社、国際的なビジネスを支援する販売委託会社などのビジネス関連組織が円滑に機能することが必要であると考えます。編集・査読体制の国際化やマーケティング機能の充実など、現時点で不十分と思われる機能を改善するために、国立情報学研究所と学協会等とが協力して英文論文誌ごとに作業グループを組織します。この作業グループの活動は3年を限度とし、その形成と運営のための経費を国立情報学研究所が負担します。

作業グループは「1.2 概要」で述べた支援策を具体的に実施するための企画を行い、

特に以下のような活動が中心となります。

- ( 1 ) 英文論文誌の編集・査読・発行の国際化やビジネスモデル創出のために必要となる実務専門家やコーディネータ等によるコンサルティングを、学協会等と協議して実施します。
- ( 2 ) 英文論文誌の流通形態を冊子体契約モデルから電子ジャーナルのコンソーシアム契約モデルなどに移行するために、国内外の大学図書館等との連携による購入計画を、平成16年1月からの開始を目指して立案します。
- ( 3 ) J-STAGEを始めとする電子ジャーナルサイトを利用する上での効果的発信方法やサイトライセンス方法などを検討し、学協会等に提案します。

## 2.3 本事業に参画する英文論文誌の募集

本事業のもとで、強化する英文論文誌を募集いたします。対象は、英文論文誌の電子ジャーナルとします。現在すでに電子ジャーナル化されている英文論文誌のほか、この事業への参画を契機として電子化を開始しようとする場合や新規に電子ジャーナルを発行しようとする場合も該当します。

応募に際し、本事業のもとで行う支援について提案をしていただきます。応募のあった英文論文誌の中から、提案内容及び以下の要件に照らして本事業として取り上げる英文論文誌を選定させていただきます。

本年度が事業開始の年度であることや予算の制約から、応募のあった学協会等の刊行する(または刊行予定の)英文論文誌の中から参画雑誌は数誌程度を予定しています。

- ( 1 ) 国内外研究者からの投稿を受け、編集委員会の国際化を実現又は企画し、既にその冊子体雑誌が一定程度国際誌として認められている。
- ( 2 ) 電子ジャーナルによる海外に向けた発信を実施または企画している。
- ( 3 ) 今後、冊子体の予約購読に基づくコスト回収モデルではなく、電子ジャーナルを基礎とする新たな価格モデルによる電子出版活動を企画している。
- ( 4 ) 既に刊行あるいはこれから刊行しようとする電子ジャーナルについて、電子ジャーナル価格を設定し、収益化を図る意欲を持っている。

## 2.4 本事業を進める体制

本事業は、評議会の下に運営委員会を置き、選定された学協会等も委員を出していただき、これが事業全体を展開する母体となります。英文論文誌ごとに作業グループを設け参画する学協会等の委員や本事業コンサルタントによる会合を随時開催し、円滑な情報交換を通してノウハウの共有を図ります。

英文論文誌ごとの作業グループは、1年ごとに評議会に事業の報告を行い、評価を受けます。また、本事業の活動内容は、シンポジウムの開催や図書館関係の会合等で広報していくことになります。

### 3. 応募方法

以下の要領で事業への参画方法をご提案ください。応募のあった学協会等の中から、評議会の審議を経て選考します。

応募のための記入項目は以下のとおりですが、国立情報学研究所のホームページ上の提案書の様式を利用し、記載しきれない内容については、添付資料としてください (URL : <http://www.nii.ac.jp/sparc/>)。

- ( 1 ) 事業への参画を希望する学協会又は学協会グループの名称及び学会の規模 (国内会員及び海外会員の数など)、団体の種別、事務局体制 (外部委託している場合はその内容など) 等、基本的事項
- ( 2 ) 今回の事業で対象とする英文論文誌に関する情報 (タイトル、投稿数、掲載論文数、採択率、刊行間隔、総ページ数、論文以外の主要な記載記事の種類 (書評等)、刊行部数 (国内、海外毎の送付部数等)、現段階での特色と評価、その他参考となる事項)
- ( 3 ) 事業への参画方法に関する提案を以下の点を含めて記述してください。
  - ・ 英文論文誌の電子化の現状又は計画
  - ・ 海外発信 (国際化) の現状及び計画
  - ・ 英文論文誌の経費回収モデルの現状及び計画
- ( 4 ) 応募理由

なお、英文論文誌発行状況や計画把握のための定款や決算書、総会報告書等を添付してください。

応募締切：平成15年9月3日 (水) 必着

提出部数：正副2部 (副はコピーでも可)

提出先： 国立情報学研究所開発・事業部コンテンツ課  
国際学術情報流通基盤整備事業推進室  
〒101-8430東京都千代田区一ツ橋2-1-2

( 郵送にて御送付ください )

問い合わせ先：国立情報学研究所開発・事業部コンテンツ課  
国際学術情報流通基盤整備事業推進室  
E-MAIL：sparc@nii.ac.jp  
TEL：03-4212-2315  
FAX：03-4212-2375

# 国際学術情報流通基盤整備事業推進体制組織

## 評議会(Board) (50音順)

- ・委員
  - 石井紫郎 東京大学名誉教授
  - 大崎仁 国立学校財務センター所長
  - 沖村憲樹 科学技術振興事業団理事長
  - 紙屋敦之 私立大学図書館協会会長校 早稲田大学図書館長
  - 小宮山宏 国立大学図書館協議会会長館 東京大学附属図書館長
  - 末松安晴 国立情報学研究所長
  - 豊島久真男 理化学研究所遺伝子多型研究センター長
  - 野依良治 名古屋大学物質科学国際研究センター長
  - 丸山工作 大学入試センター所長
  - 光岡知足 日本学会事務センター理事長
- ・顧問
  - James Neal Chairperson of the Steering Committee of SPARC
  - ・オブザーバー 文部科学省

企画立案

## 運営委員会(Steering Committee)

- ・科学技術振興事業団
- ・国立情報学研究所
- ・国立大学図書館協議会
- ・私立大学図書館協会
- ・日本学会事務センター
- ・選定英文論文誌関係者
- ・オブザーバー：SPARC(US)、SPARC Europe

事務局

国際学術情報流通基盤整備事業推進室 (Office)  
事務局

- 国立情報学研究所
  - ・情報学資源研究センター
  - ・開発・事業部
  - ・コンサルタント

# SPARC (The Scholarly Publishing and Academic Resources Coalition): 米国とヨーロッパの概要

|    | SPARC (米国)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | SPARC Europe                                                                                                                                                                                                                                                |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 組織 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●1998年ARL (Association of Research Libraries: 米国研究図書館連合) のプロジェクトとして設立された、大学、大学図書館、学術団体の連合組織</li> <li>●約200図書館(機関)が参加</li> <li>●SPARC会員の会費(年5,000ドル)により運営する。</li> <li>●会員はSPARCが支援している学術雑誌を年間7,500ドル購入する義務を負う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●2002年LIBER (Ligue des Bibliothèques Europeennes de Recherche: 欧州研究図書館連盟) の下に組織された米国SPARCの同盟団体</li> <li>●10カ国52図書館が参加</li> <li>●年会費<br/>10,000 £ / 16,000 ユーロ: 国立ないし汎欧州の大規模機関<br/>500 £ / 800 ユーロ: 小規模図書館</li> </ul> |
| 活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●商業誌に対抗する競合誌の刊行企画支援<br/>例: Organic Letters (米国化学会がTetrahedron Lettersに対抗して創刊した雑誌、インパクトファクターが逆転した)</li> <li>●研究者自身の手による学術コミュニケーション活動の支援<br/>例: BioOne (米国生物科学学会が大学や印刷会社と連携して生物系46誌の電子ジャーナル発信事業を立ち上げた。)</li> <li>●学術情報流通の適切なあり方に関する教育活動<br/>例: 学術コミュニケーションの変革を訴える”Create Change”、学会自立のための手引書”Gaining Independence”を公表</li> <li>●大学 / 学会 / 学術団体へのビジネスコンサルタント事業</li> <li>●大学や学会等の研究機関自身が研究成果発信機能を持つInstitutional Repositoryを推進。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●英国オックスフォードに事務局を置き、米国SPARCの活動と連携するとともに、欧州での独自の活動(Budapest Open Access Initiativeなど)を支援。</li> </ul>                                                                                                                   |

URL: <http://www.arl.org/sparc/>

URL: <http://www.sparceurope.org/>